

FUKU! SOBA

No.4

福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

近頃ようやく暑さも落ち着き、過ごしやすい気候になってきました。ソバについては、降雨に備えて排水溝の手直しなどの排水対策を徹底しましょう。今年はヨトウムシが大量発生している圃場が多く見受けられます。付近にある大麦圃場も被害を受けている地域があるので、注意が必要です。

1. 生育状況について

- 開花期以降、高温の影響により結実しにくい状況が続いており、平年より成熟期は遅くなる見込みです。
- 一部地域でハスモンヨトウが大量に発生し、食害を受けている圃場が多数出ています。圃場を確認し、食害が甚大な圃場は、「フェニックス顆粒水和剤」で防除をしましょう。
- 近年、帰化アサガオの発生が目立っています。帰化アサガオの種子は、ソバの実と色・形とも酷似していて、取り除くことが困難です。発生がある場合は、収穫までに除去しましょう。



帰化アサガオの種子



ヨトウムシの食害を受けた圃場

2. 適期刈取について

完全に成熟するのを待っていると収穫作業等による脱粒が増加するため、子実の黒化率が70%~80%に達したら収穫を開始しましょう。

- 11月に入ると不安定な天候が予想されます。圃場内に水が停滞すると収穫作業に影響が出ます。今後も排水溝の手直しを心掛け刈取に向けた準備を行いましょう。

『収穫適期の目安』

※ コンバインの場合
子実【粒】の黒化率が70%程度(褐色)になったら収穫する。

『乾燥の目安』

※ 急激な乾燥は、風味を損ねるので注意する。
※ 水分は15%で仕上げる。

- 大豆刈取に使用したコンバインは、十分に清掃を行いましょう。

